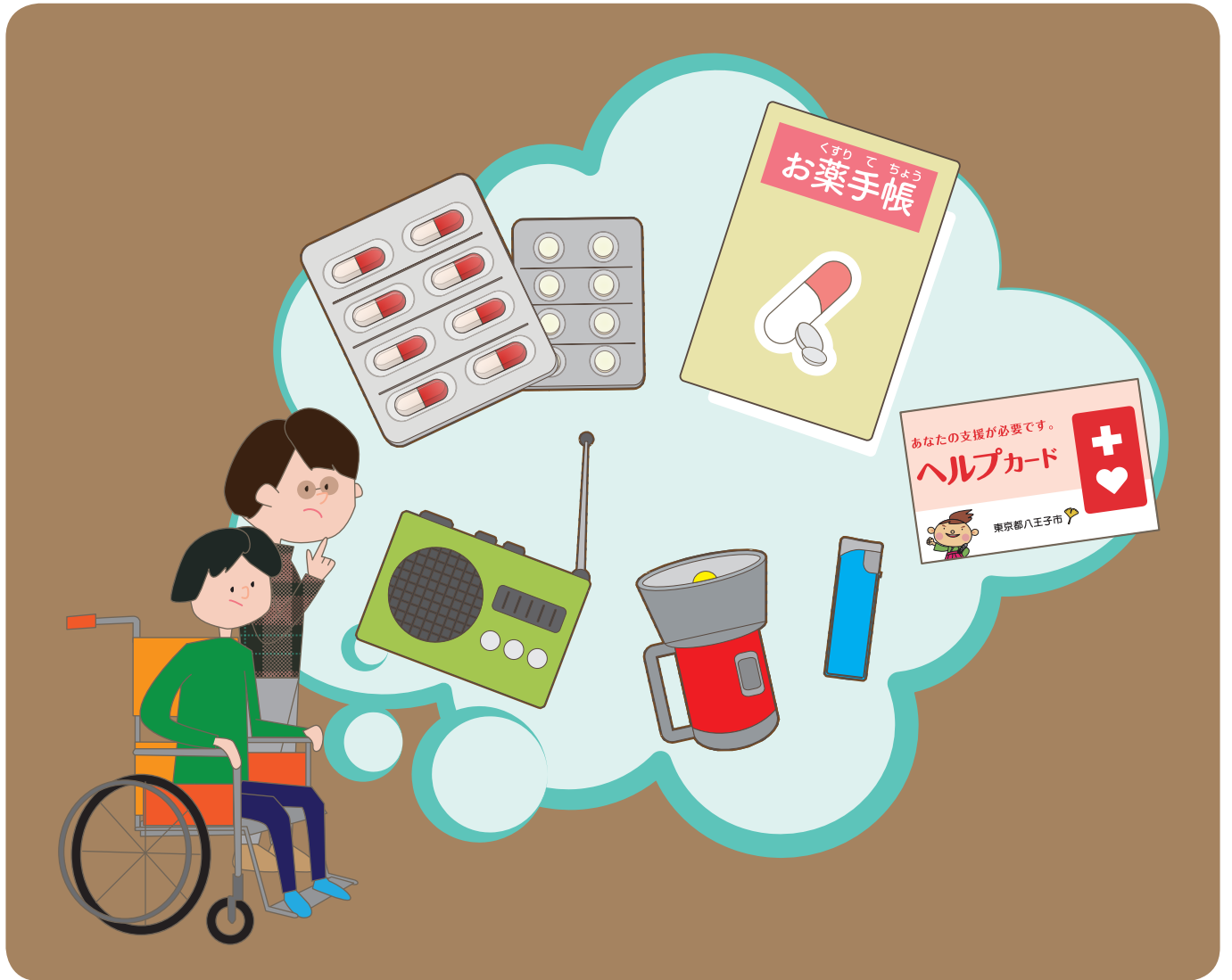


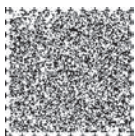
# 5 しょう がい おう たい おう 障害に 応じた対応



しょう がい おう じゅん び  
障害に  
応じて準備  
をしておく  
ものや、  
さい がい お とき こう どう  
災害が  
起きた時  
の行動は  
さまざま  
です。

おも しょう がい  
主な障害  
ごとに  
たい おう れい  
対応例  
をあげて  
みました。

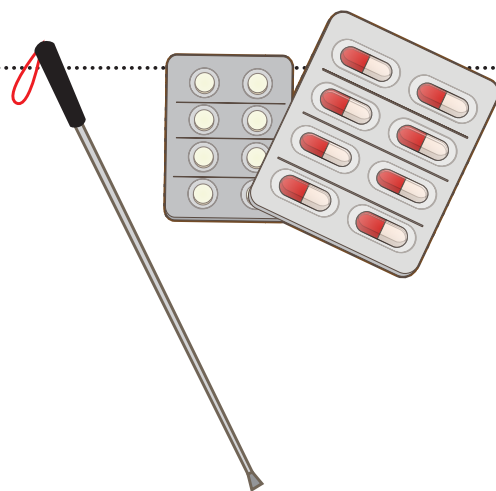
ほか しょう がい さん こう  
他の障害  
のことも  
参考に  
じ ぶん あ たい おう  
自分に  
合った  
対応を  
かんが  
考えて  
みましょう。



# ～視覚障害のある方～

## [非常用持出品や備蓄品]

- ◎ 眼鏡
- ◎ 白杖 (折りたたみ式など)
- ◎ 時計 (音声、触知式など)
- ◎ 緊急時の連絡先の点字メモ
- ◎ 点字板
- ◎ メモ用録音機
- ◎ 携帯式ラジオ (カード式など)
- ◎ 薬 など



## [事前の対策]

- ◎ いつでも情報が得られるように、ラジオや点字板などは常に身近な場所に置きましょう。
- ◎ 白杖には、暗闇でもわかるように発光シールなどを貼り、地震などで被害を受けないような場所に置きましょう。
- ◎ 家の物の配置や、非常用持出袋などの配置を常に一定にしておきましょう。
- ◎ 飛び散ったガラスなどに備え、厚底靴などを用意しておきましょう。
- ◎ 周囲の人に支援を求めるヘルプカードなどを作成して持ち歩きましょう。



## [災害が起きたら]

- ◎ ラジオ、テレビや広報車などの内容に注意し、情報収集に努めましょう。
- ◎ 地震の場合、家族や近所の人に火気や水回りの点検をお願いしましょう。
- ◎ 一人の場合は大声や笛、ブザーなどで助けをよび、視覚障害であることを告げ、周囲の人に状況を聞き、安全な場所に誘導してもらうようにしましょう。

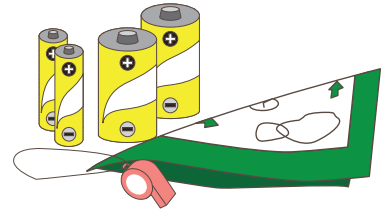


# 5 しょう がい おう たい おう 障害に応じた対応

## ちょう かく しょう がい げん ご しょう がい かた ～聴覚障害・言語障害のある方～

### ひ じょう よう もち だし ひん び ちく ひん [非常用持出品や備蓄品]

- ◎ 予備の補聴器 ◎ 携帯用会話補助装置
- ◎ バッテリー（電池等） ◎ 防災バンダナ
- ◎ 筆談用具（ホワイトボードやメッセージカードなど）
- ◎ 助けを求めるための笛やブザー（常に携帯しましょう）
- ◎ 「緊急会話カード」（事前に作成しておきましょう） など

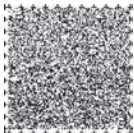


### じ ぜん たい さく [事前の対策]

- ◎ 補聴器、携帯電話、文字情報が得られる携帯端末など（振動モード付）は、常に手元に置きましょう。
- ◎ インターネットや文字放送、手話放送設備の活用を考えてみましょう。
- ◎ 119番ファックス通報の準備をあらかじめしておきましょう。
- ◎ 介助者不在の場合、特に夜間の情報伝達をどうするかについて、家族や協力してくれる方とあらかじめ決めておきましょう。
- ◎ 周囲の人に支援を求めるヘルプカードなどを作成して持ち歩きましょう。

### さい がい お [災害が起きたら]

- ◎ テレビ、文字放送、携帯電話、周囲の人などから情報を収集するように努めましょう。
- ◎ 火災の時は助けを求め、119番通報をしてもらいましょう。
- ◎ 動けなくなった場合は、笛や携帯用ブザーなどで、居場所を知らせ助けを求めましょう。
- ◎ 近くの人に聴覚障害や言語障害があることを伝え、必要な手助けや避難誘導などをしてもらいましょう。

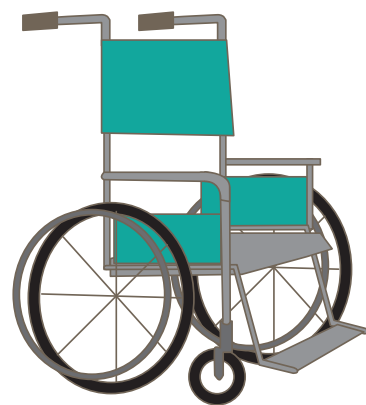


ちょう かく しょう がい しゃ ひ なん じょ はち おう じ し ちょう かく しょう がい しゃ きょう かい  
聴覚障害者のための避難所については、八王子市聴覚障害者協会ホーム  
ページで確認できます。【URL】 <http://hachioji.deaf.to/hinan.html>

# ～ 肢体に障害のある方～

## [非常用持出品や備蓄品]

- ◎ 予備の車イスや歩行補助具
- ◎ 予備のバッテリーや充電器
- ◎ おぶいひも、担架や毛布など  
(個人でも備えておくと、避難支援が受けやすい)
- ◎ 予備の補装具(古くなったものなど)
- ◎ 床ずれ対策ができるもの
- ◎ 携帯トイレなど自分に合った排泄処理用具 など



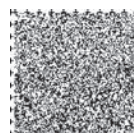
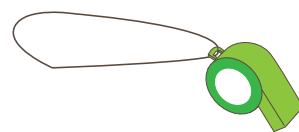
## [事前の対策]

- ◎ 寝る場所や居住空間は、倒れてくる物がないようにし、できるだけ避難しやすい1階を選ぶようにしましょう。
- ◎ 車イスが通れる幅を十分に確保しておきましょう。
- ◎ 歩行補助具や車イスは、安全な場所に置き、暗闇でもわかるように発光シールなどを貼っておきましょう。
- ◎ 車イスの空気圧や電動用バッテリー(充電や液量)は常にチェックしておきましょう。
- ◎ 周囲の人に支援を求めるヘルプカードなどを作成して持ち歩きましょう。



## [災害が起きたら]

- ◎ 動ける場合は、這うなど安全な姿勢をとり、補助具や非常用持出品を準備し、避難支援を頼みましょう。
- ◎ 動けない場合は、大声や笛、ブザーなどで大きな音をたて助けを呼びましょう。
- ◎ 火災の時は、脱出を優先しましょう。



# 5 障害に応じた対応

## ～内部障害・難病のある方【共通事項】～

### [非常用持出品や備蓄品]

- ◎ 中断できない薬や点滴などとその用具
- ◎ 治療食や特別食
- ◎ 日ごろから、疾病に応じて、連絡会などの情報を集めておきましょう。



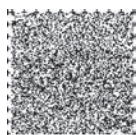
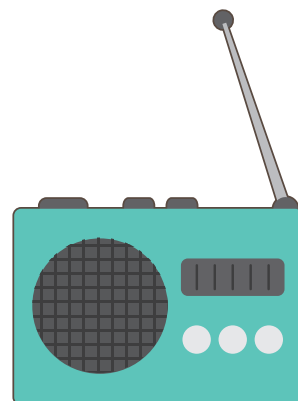
### [事前の対策]

- ◎ 薬や治療食などの備えや、災害時の対応について、主治医に相談をしておきましょう。
- ◎ 「ヘルプカード」などにも治療方法や介助方法をわかりやすく記入しておきましょう。



### [災害が起きたら]

- ◎ あわてて無理な行動をとると病状の悪化のおそれがあるため、ラジオなどで状況を確認し、安全を確保しつつ、周囲に協力を求めるようにしましょう。
- ◎ 支援者や医療関係者に、自分の身体の状況や生活上の注意事項を伝えるようにしましょう。





## ～腎臓に障害のある方～

### [非常用持出品や備蓄品]

- ◎ 透析用の薬や用具、機材の予備電源 など

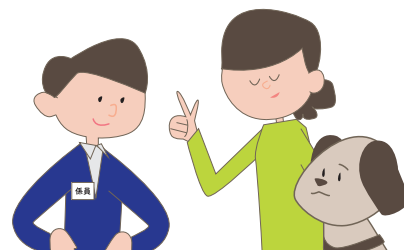
### [事前の対策]

- ◎ 透析ができない場合の対策を、主治医などと話し合っておきましょう。
- ◎ 自分の透析条件を「ヘルプカード」などに記入しておきましょう。



### [災害が起きたら]

- ◎ 薬や透析が継続できるように、避難所の係員などに移動手段や医療機関を確保してもらいましょう。



## ～心臓に障害のある方～

### [非常用持出品や備蓄品]

- ◎ ペースメーカーについて対応してくれる、医療機関や業者の連絡先のメモ など

### [事前の対策]

- ◎ 日ごろから主治医に薬の作用や作用時間の長さ、飲めなかったときの影響について確かめておきましょう。
- ◎ 周囲の人に支援を求めるヘルプカードなどを作成して持ち歩きましょう。

### [災害が起きたら]

- ◎ ストレスなどで血管の収縮や血圧の上昇が起こることがあるので、できるだけ落ち着いて行動し、早めに支援を求めるようにしましょう。

